

百人一首 (歌番号 : 91 ~ 95)

おほけなく
 うき世の民に
 おほふかな
 わがたつ杉に
 墨染の袖

前大僧正慈円



わがたつそ
 まにすみぞ
 めのそで

み吉野の
 山の秋風
 小夜ふけて
 ふるさと寒く
 衣うつなり

参議雅経



ふるさとさ
 むくころも
 うつなり

世の中は
 常にもがもな
 渚漕ぐ
 あまの小舟の
 綱手かなしも

鎌倉右大臣



あまのおぶ
 ねのつなで
 かなしも

わが袖は
 潮干に見えぬ
 沖の石の
 人こそ知らね
 乾く間もなし

二条院讃岐



ひとこそし
 らねかわく
 まもなし

きりぎりす
 鳴くや霜夜の
 きむしろに
 衣かたしき
 ひとりかも寝む

後京極摂政太政大臣



ころもかた
 しきひとり
 かもねん